

薬剤師生涯学習の在り方と現況

2011.12

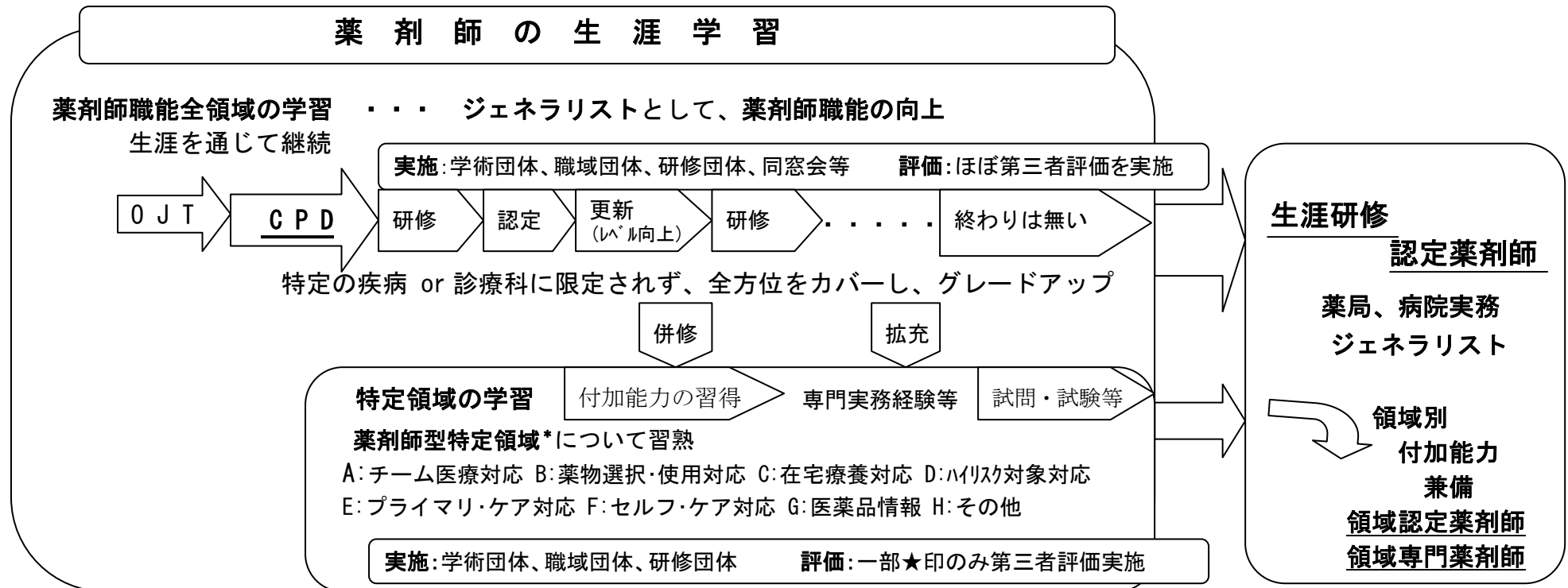
公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構 (CPC)

▶規制

法の取決めなし。自主・自律状態にある。生涯研修義務化、及び薬剤師免許更新制が目標。

理由：職責が全方位であり、薬物療法の進歩が早く継続的であることによる。

▶内容・分野・カテゴリー



*薬剤師型特定領域の例：A：がん医療チーム，緩和チーム，救急チーム B：薬物治療，感染制御 C：HIV，在宅療養 D：妊婦・授乳婦，小児療法，高齢者ケア E：★プライマリ・ケア，トリアージ F：OTC，禁煙支援 G：DI，★育薬(医薬品ライフタイムマネジメント)

薬剤師生涯学習の在り方と現況【解説】

本図は、生涯学習の進路と、薬剤師本人の能力、資格・名称等の変遷を示したものである。

○規制について

薬剤師の生涯学習には、法規制や行政上の取決めはなく、薬剤師自身の自己管理に任されている。薬剤師の資質向上と信頼性確保には、生涯学習の義務化、あるいは薬剤師免許更新性が最も効果的であり、その実現を将来の目標とする。

○内容・分野・カテゴリーについて

継続的学習によるジェネラリストとしての総合的職能の向上が、実務薬剤師全員に共通して求められる。生涯研修は職場での実地訓練（OJT）から始まり、自己管理によるCPDの実践が基本となる。CPDの進行に伴い、生涯研修認定制度の実施機関から学習記録の証明を受けて、**生涯研修認定薬剤師**となる。

実施機関により、一般研修のほか、各種レベル向上（グレードアップ）を図る研修プログラム等、創意に満ちた計画設定も行われている。

○専門領域に関する制度と資格の呼称と概念

CPCの「認証事業実施要綱」では、制度のカテゴリーとして「特定領域認定制度」、及び「専門薬剤師認定制度」の名称を使用しているが、薬剤師個人の資格の総括呼称としては「領域認定薬剤師」「領域専門薬剤師」とする。個々の資格呼称としては下記分類による特定領域名を付す。

領域認定薬剤師は、生涯研修認定薬剤師が、ある特定領域について、より深く学習できるように計画された特定領域認定制度に基づき、所定の学習実績を認定され証明を受けた薬剤師である。

領域専門薬剤師は、標榜する領域に関する薬剤師としての専門性を発揮して、チーム医療等に貢献できる知識や技能を有していることを、専門薬剤師認定制度の実施機関の責任において認定し保証された薬剤師である。

○特定領域の分類について

薬剤師の生涯研修における特定領域は、診療科や疾患ではなく、図中の「薬剤師型特定領域」に示すように分類され、欄外の例示のような名称を持つ認定制度となる。

○実施機関の評価・認証について

厚労省医政局「専門医のあり方検討会」の討議でも明らかなように、生涯学習の内容や制度には、第三者評価・認証による質の保証が不可欠であり、薬剤師も例外ではない。

薬剤師生涯学習の現況では、各制度の実施機関、及びその評価・認証の様態も様々ある。生涯研修認定制度の実施機関は、現在すべてCPCの評価・認証を受けている。

特定領域認定制度の実施機関では、図中★印の2件が認証されている。

専門薬剤師認定制度は、現在実施機関の自主責任で質の保証が行われている。

将来は、すべての認定制度実施機関が第三者評価・認証を受ける方向に進む趨勢にある。